

市長 住民投票を求める18,947筆を無視 解職(リコール)署名に、ご協力を

署名運動の妨害は
罰せられます

西尾市と幡豆郡3町の合併について、住民投票で決めるよう求めた署名名は1万8千947筆を集め市長に提出しましたが、市長は、「住民投票の必要はない」という意見を付して議会に提出。議会は賛成10、反対13で否決してしまいました。

3団体が署名を開始



住民投票は、政治に住民の声を反映させる手段として、地方自治法に規定されたものです。しかし、市長は終始「一貫」住民投票はしない」と言明しています。それは、地方自治法の精神を踏みにじるものです。

住民投票を否決した市長と一部議員は「市民は合併について文句を言わず、市長と議員に従って進んでいるのと同じです。私たちは、このような市長を首長として認める訳にはいきません。そこで、合併を考える会など3つの市民団体が市長の解職(リコール)を求める住民直接請求署名を始めました。この運動には是非ご協力をお願いします。

西尾市再生がなぜ合併か

榊原市長候補の選挙公約
西尾市再生マニフェスト

上記の公約について、誰がこれほど拙速で強引な合併を予測したでしょうか。

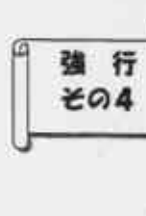
中村市長の汚職引連の後を受け、西尾市を再生するという公約を打ち出した市長。なのに実行したのは、合併の強行でした。



●ところが、就任一週間後の7月13日、四首長で突然合併推進を表明しました。★その中で特に、西尾市長と色田市長は、今年9月までの合併を強調。議会や市民の同意なく眼中になかったようです。



●市長は、昨年8月16日、当時議員は合併の賛否の意思を示していないのに、議長を同席させ、あたかも同意しているかのように見せかけて四首長で記者会見をしました。新市名・役場・合併期日・合併方式を発表しましたが、この時も議員は「カヤの外」。



●昨年の9月議会、合併案について議員が賛否をしている最中に、住民説明会を始めましたという異常さです。8月26日、日本共産党議員団はこの時点での住民説明会は拙速のそりを免れないとして、延期を申し入れました。しかし、それを聞き入れずに強行したため説明内容の誤りが露呈しました。



あなたも署名集め人にご連絡は

牧野次郎 57-30064
牧野勝子 59-8424
Tel 59-8424
Fax 54-00325
59-00464

2010年8月 号外 西尾民報
発行所 西尾民報社

西尾市住吉町5-34-2 〒445-0851 電話・7773 0563-54-4421

署名期間は9月11日(土)までです



市長、合併のためには手段を選ばず

行
その5



行
その6



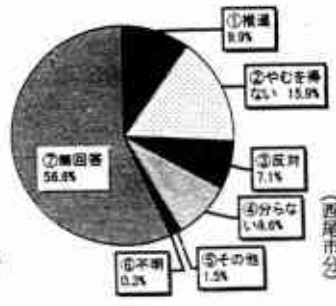
行
その7

行
その8

住民説明会で合併に伴うデメリットは説明せず！

- ★合併するところの財政力不足の3町に交付されていた交付税が22年度実績、25億円(09年)から減り、11年後からなくなり、国から3町への交付税分を西尾市民が肩代わりすることになります。こんな重要なことを説明していません。
- ★合併に伴い、コンビニエンスストアの一元化など26億円の経費がかかることを説明していません。

合併アンケートの結果 (西尾市定)



住民意向調査は意図的に賛成に誘導！

★議員の指図や総務部の指図にも反して、住民意向調査は、住民を意図的に賛成に誘導しています。たとえば、①の併に積極的賛成②の合併はやむをえない、②の項目を賛成とし、反対は1項目だけ。また、やむをえないなどという推進者の主観の押し付けています。本来、アンケートは、賛成、どちらかといえば賛成、反対、どちらかといえば反対とすべきで、そうすれば結果は違ってくるはず。中立であるべき公務員が、合併させる立場で調査をしており、公務員にやむを得ない誘導行為。

新市計画は住民説明会の内容を大幅に下方修正！

- ★合併後10年間で、事務費や人件費など経常経費を減くまちへの予算は、合併説明会の時の予測数値800億円が413億円に半減。それは08年秋からの大不況による税収減を埋込まず、意図的に合併を八面色に演出したためです。



合併は住民投票で決めてほしいという請求署名をむげに切り捨てー

★市長は、その前にあつらひをかき、住民投票では負けることを恐るるで拒否してごまかす。

合併は問題山積

- ★3町の都市計画税は、住民負担の軽減に配慮せず一挙に4割増し。
- ★1市3町の臨時職員はほとんど首切り。
- ★西尾市の図書館の開館時間短縮。(3町と統一)
- ★小中学校及び一部高校での体育館など、学校開放を無料から有料化へ。
- ★ふれあいセンターの有料化。
- ★合併目前にして西尾市は節約で14億円の借金減。3町は駆け込み事業で12億円の借金増。負担は市民の肩に。責任者として仕切れない市長。
- ★退職金をめぐり裁判の決着もつけず、「行革」を口にしながら副町長を2人も置きたいとする一色町長。いかがなものか。
- ★室場子ども園や、矢田ふれあいセンターの建設は、合併により遅れることはあっても早まることはない。
- ★造りたての庁舎を改造し、名札の書き換えなど合併のために5億円の支出。
- ★合併推進団体の多くが給会などの民主的手続きを経ず、幹部のみで合併推進を表明している。
- ★西尾市の全国に誇る保育園・学校の手作り給食も合併後に考えると、保障の限りではない。

●財政力のある西尾市と、それより低い3町が合併すれば、全体の財政力は下がります。人員削減効果も「10年間でみて」としているように、殆ど期待できません。

●最近の住民説明会で合併効果は10年間で180億円余と強調していますが、11年後から不交付になれば次の10年で200億円余の減収。国はそれを狙っています。

●このようならずへの情報を公開し、住民に問うのが市民に選ばれた市長の任務です。それを拒否する市長は市民の代表とはいえません。

有権者の3分の1署名で市長の審判を！